取扱説明書

K 760
K 760 Rescue

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

Japanese

シンボルマークの意味：

警告！不注意な取扱いや誤った取扱いは、作業者や周囲の人などに、深刻な、時には致命的な傷害を引き起こすことがあります。

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。

本製品は、適用される EC 指令に準拠しています。

警告！切断の際には粉塵が発生し、人体に吸い込まれると危険です。適切な呼吸マスクをご使用ください。ガソリンの蒸気や排気を吸い込まないように注意してください。常に換気を十分に行ってください。

警告！キックバックは突然かつ急に、勢いよく発生し、命にかかわる傷害を発生させることがあります。マシンを使用する前に、マニュアルの説明をよく読み、理解してください。

警告！カッティングブレードから発生する火花から以下の可燃物に引火することがあります。ガソリン（ガス）、木、枯草など。

環境に対する騒音レベルは EC 指令に準拠。本機の騒音レベルは、主要諸元の章とステッカーに記載されています。

マシンに付いている他のシンボル/ステッカーは、諸地域固有の各種基準に対応したものです。

警告レベルの説明

警告は三つのレベルで構成されます。

警告！

警告！取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が重傷を負ったり、死亡したりするか、あるいは周囲に損傷を与える危険があることを意味します。

注意！

注意！取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が怪我をしたり、あるいは周囲に損傷を与えたりする危険があることを意味します。

注意！

注意！取扱説明書の指示に従わない場合、材料やマシンに損傷を与える危険があることを意味します。

目次

概要

お客様へ

ハスクバーナの製品をご購入いただき誠にありがとうございます。お客様に安心して製品をお使いいただくため、製品登録をお願いいたします。製品をお使いいただくために欠かせないサポートサービスや緊急情報の提供は、登録されたお客様のみ対象となります。ご利用の前に必ずご登録ください。http://www.jp.husqvarna.com/node1587.asp

本製品にご満足いただき、末永くご愛顧いただけることを願っております。弊社の製品をご購入いただくことで、専門的な修理と点検を受けることができます。お買い上げになった販売店が正規代理店でない場合は、その販売店に最寄のサービス代理店の所在地をお問い合わせください。

当社は、本取扱説明書がお客様のお役に立てることを願っています。説明書の記載内容 (使用方法、サービス、メンテナンスなど) に従うことにより、本機の寿命を延ばし、転売時の価値を高く維持することができます。本機を売却する場合、取扱説明書も購入者にお渡しするようにお願いいたします。

300 年以上も続けられているイノベーション

ハスクバーナはスウェーデンの企業で、その歴史は、スウェーデン王のカール 11 世が Huskvarna 川の岸辺にマスケット銃の製造を目的とした工場の建設を命じた 1689 年に遡ります。その時代、ハスクバーナは、猟銃、自転車、オートバイ、国産機械、ミシン、アウトドア製品などの分野で世界をリードするプロダクトを開発。それらの開発を支える技術的スキルを背景に、企業の礎がすでに築かれています。

ハスクバーナは、森林や公園のメンテナンス、芝生や庭の管理向けアウトドア用パワープロダクト、さらには、建設および石材産業向け切削装置やダイアモンド工具などのグローバル・リーダーです。

使用者の責任について

マシンを安全に使用するための十分な知識を使用者に持たせることは、オーナーあるいは雇用者の責任です。監督者や使用者は、取扱説明書を読んで、それを理解する必要があります。彼らは以下を確認する必要があります。

- マシンの安全に関する説明事項。
- マシンの用途や使用限度の範囲について。
- マシンの使用方法とメンテナンス方法について。

メーカーからお客様へ

取扱説明書のあらゆる情報およびデータは、本書の印刷時に有効であったものです。

ハスクバーナは継続的に製品の開発を行っています。
そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

特長

ハスクバーナの製品は、高性能、高信頼性、革新的技術、先進的な技術的ソリューション、および環境への対応など、様々な特長により、他社と一線を画しています。

当社製品のユニークな機能を以下に示します。

Active Air Filtration™

三段階の遠心分離式空気清掃により、長期間のサービス寿命とサービスインターバルを実現。

OilGuard (K760 OilGuard)

燃料内にオイルがあるかどうか、あるいは、オイルの種類が違っているかどうかを検知するための光学的検知システム。

SmartCarb™

内蔵自動フィルター補正機能により、ハイパワーを維持し、燃料消費を削減。

Dura Starter™

防塵スターターユニットです。密閉された内部にリターンスプリングとプーリーベアリングがあり、これによりスターターが実質的にメンテナンスフリーになり、信頼性も高まります。

X-Torq®

X-Torq® エンジンは、広範囲のスピードに対して最適なトルクを提供し、最大限の切削能力を実現します。X-Torq® は、燃料消費を最大 20%、排出ガスを最大 60% 削減します。

EasyStart

迅速で簡単なマシン始動ができるようエンジンとスターターが設計されています。スターターコードの引っ張り抵抗が 40% 減少しています。（始動時の圧縮を減少）

DEX

低フラッシング湿式切断キットによる効果的な塵埃処理

効率的な振動軽減システム

効率的な振動軽減システムにより、腕や手に加わる振動を軽減されます。

特殊開発のスターターハンドル (K 760 レスキュー)

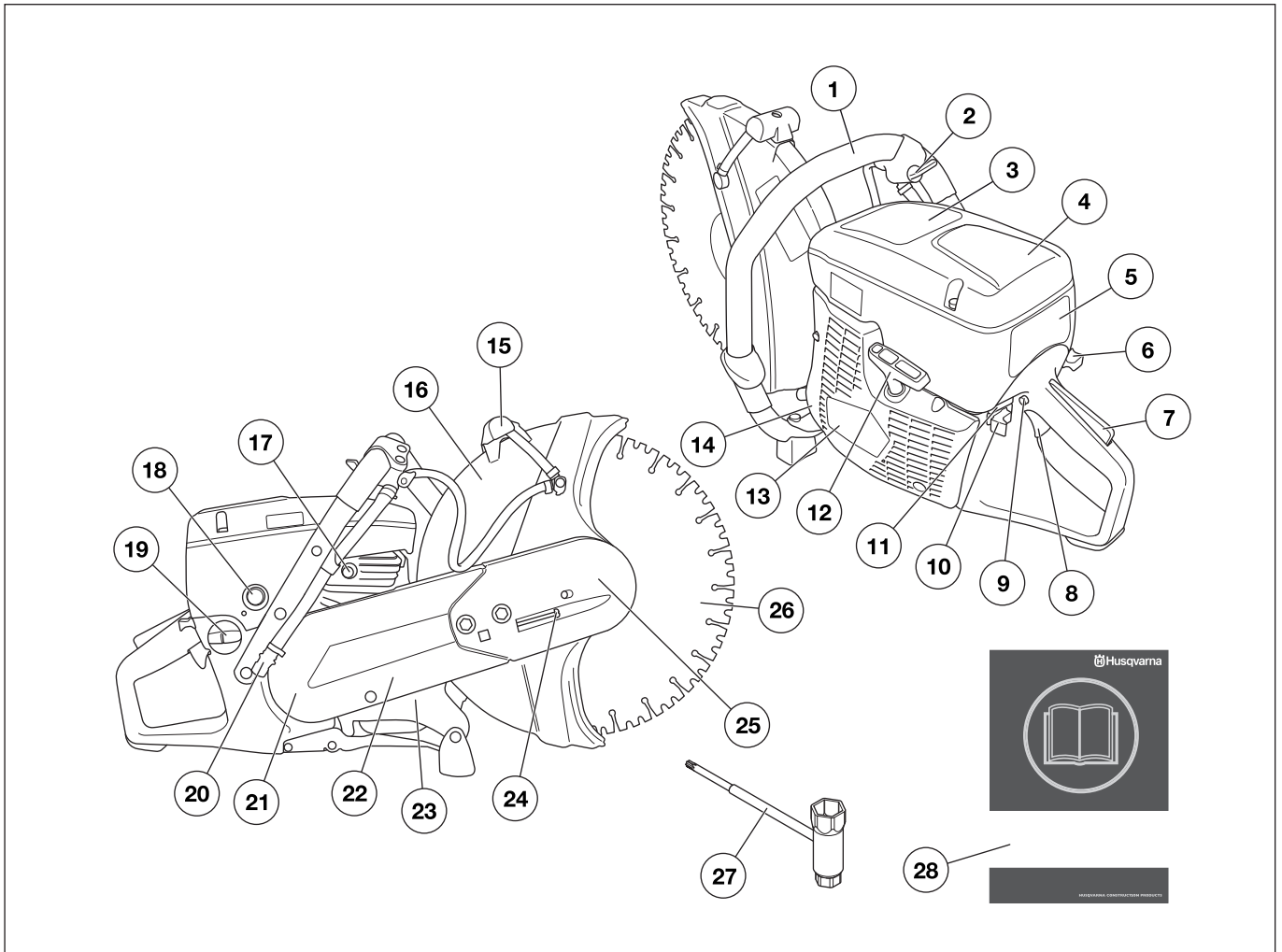
ヘビーデューティー手袋向けのスペースを持つ、特殊開発のスターターハンドル

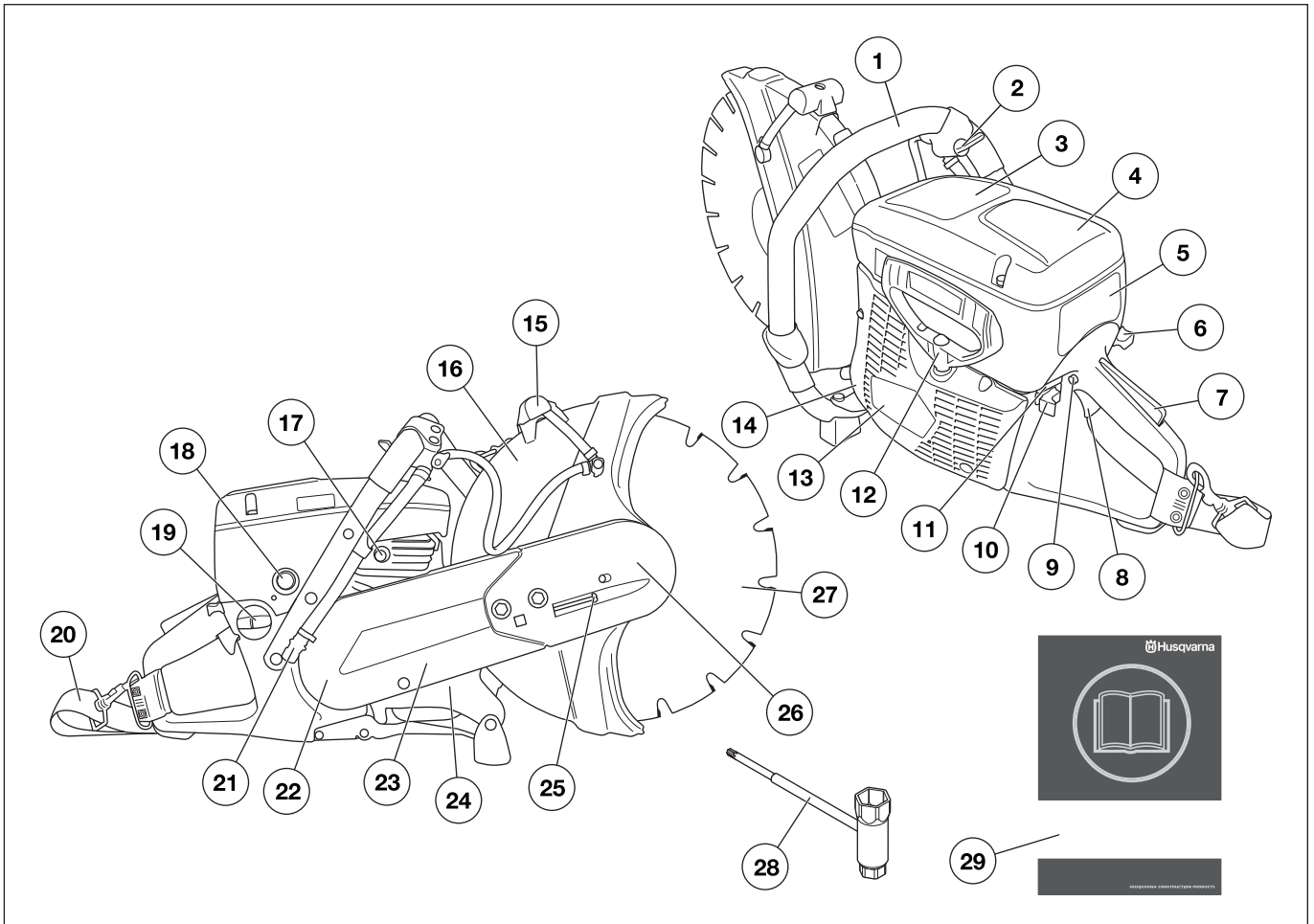
調整可能キャリーストラップ (K 760 レスキュー)

調整可能キャリーストラップにより、完全に自由な動きが可能になります。

クロムメッキ付きブレードガード (K 760 レスキュー)

煙や水しぶきの中でも見やすいクロムメッキ付きブレードガードは、カッターの操作を向上させます。

概要

パワーカッターの各部名称 — K 760?

1 フロントハンドル
2 水タップ
3 警告シール
4 エアフィルターカバー
5 シリンダーカバー
6 チョーク
7 スロットルロック
8 スロットルトリガー
9 スタートスロットルロック
10 ストップスイッチ
11 OilGuard の解除機能 (K760 OilGuard)
12 スターターハンドル
13 スターター
14 マフラー
15 ガード用調整ハンドル
16 ブレード用ガード
17 デコンプバルブ
18 エアパージ
19 燃料タンク
20 フィルター付き給水接続部
21 ベルト保護カバー
22 カッティングアーム
23 規格プレート
24 ベルトテンションねじ
25 カッティングヘッド
26 カッティングブレード
27 コンビレンチ
28 取扱説明書

パワーカッターの各部名称 — K 760 レスキュー?

1 フロントハンドル
2 水タップ
3 警告シール
4 エアフィルターカバー
5 シリンダーカバー
6 チョーク
7 スロットルロック
8 スロットルトリガー
9 スタートスロットルロック
10 ストップスイッチ
11 OilGuard の分離機能 (K760 OilGuard)
12 スターターハンドル
13 スターター
14 マフラー
15 ガード用調整ハンドル
16 ブレード用ガード
17 デコンプバルブ
18 エアパージ
19 燃料タンク
20 ハーネス
21 フィルター付き給水接続部
22 ベルト保護カバー
23 カッティングアーム
24 規格プレート
25 ベルトテンションねじ
26 カッティングヘッド
27 カッティングブレード
28 コンビレンチ
29 取扱説明書

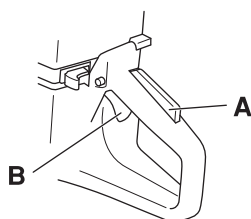
マシンの安全装置

一般注意事項

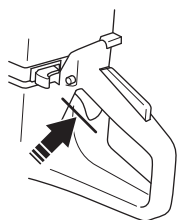
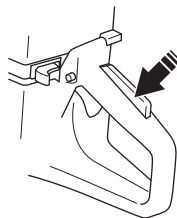
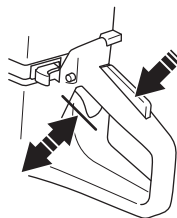
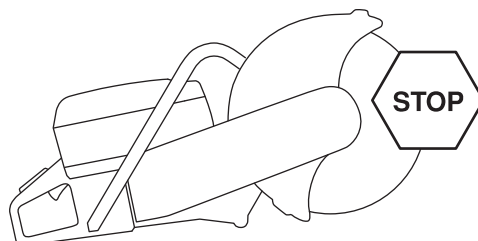
警告！取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が重傷を負ったり、死亡したりするか、あるいは周囲に損傷を与える危険があることを意味します。

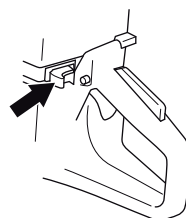
この項目は、マシンの安全装置について説明しており、その目的、マシンの正確な動作を確保するための検査とメンテナンスの方法を記載しています。

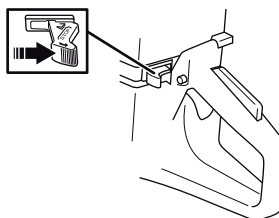
スロットルロック

スロットルトリガーロックは、スロットルの操作ミスを防ぐためのものです。ロック (A) が押されたとき、スロットル (B) が解放されます。

スロットルが押されている間、トリガーロックは押されたままになります。ハンドルのグリップを放すと、スロットルトリガーとスロットルトリガーロックの両方が元の位置に戻ります。この動作は、2 つの独立したリターンスプリングシステムが制御しています。この構造はつまり、アイドリング位置ではスロットルトリガーが自動的にロックされることを意味します。

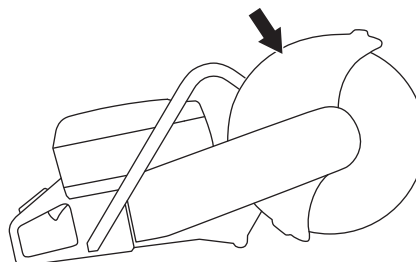
スロットルロックの検査

- スロットルロックを放したとき、スロットルトリガーがアイドリングの設定になっていることを確認します。

- スロットルロックを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。

- スロットルトリガーとスロットルロックがスムーズに動き、リターンスプリングが正しく機能していることを点検します。

- パワーカッターを始動し、フルスロットルにします。スロットルトリガーを放せば切断ブレードの走行が停止し静止状態が保たれることを確認します。スロットルがアイドリングの位置にあるにもかかわらず切断ブレードが走行する場合は、キャブレターのアイドリング調整をチェックしてください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

ストップスイッチ

ストップスイッチはエンジンを切るときに使用します。

ストップスイッチの検査

- エンジンを始動し、ストップスイッチを停止設定にしたときにエンジンが停止することを確認します。

ブレード用ガード

警告！本機を始動する前は常に、ガードが正確に装着されていることを確認してください。

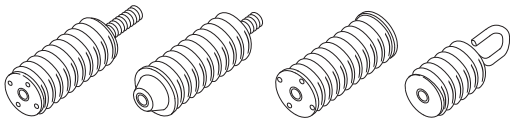
カッティングブレードの上にガードが取り付けられています。ガードはブレードや切断小片が作業者に向って飛ぶのを防ぐためのものです。

ブレードガードの検査

- カッティングブレード上のガードを検査し、ひび割れや損傷がないかを確認します。損傷があるときは交換します。
- カッティングブレードが正しく取り付けられており、損傷が存在しないことを確認します。損傷のあるブレードは、人的な傷害を招きます。

マシンの安全装置

振動軽減システム

警告！循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。振動が原因と思われる症状が出たときは、医師に相談してください。症状にはしびれ、感覚まひ、うずき、ちくちくする痛み、刺すような痛み、力が入らない、皮膚の色の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手の甲、手首に現れます。この症状は低温の環境下でよく起こります。

- 本機には振動軽減システムがついており、振動をやわらげ操作しやすいようになっています。
- 本機の振動軽減システムは、エンジンユニットや切断装置とハンドル間の振動の伝導を軽減します。切断装置を含むエンジン本体は、振動軽減ユニットによってハンドルを振動から守っています。

振動軽減システムの検査

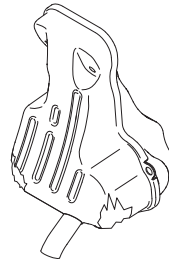
警告！ストップスイッチを STOP 位置にして、エンジンを切って下さい。

- 振動軽減システムにヒビや変形がないか、定期的に点検します。損傷がある場合、交換して下さい。
- 振動軽減システムがエンジンユニットとハンドルユニットの間にしっかりと固定されていることを確認します。

マフラー

警告！マフラー無しのマシンや欠陥のあるマフラーを装着したマシンは決して使用しないでください。マフラーに損傷があると騒音レベルや火災の危険性が高くなります。消化装置をお手元に装備してください。

マフラーは、使用中および使用直後ともに非常に熱くなります。このことはアイドリング中にも該当します。特に可燃物や可燃性ガスの近くで作業をするときは、火災の危険性に注意してください。

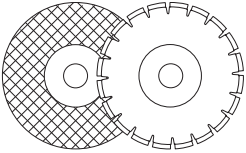
マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、直接的な排気ガスから使用者を護る働きをします。

マフラーの点検

マフラーが完全に正常で、正しく固定されていることを定期的に確認します。

カッティングブレード

一般注意事項

警告！カッティングブレードは破壊して、作業者が損傷を受けることがあります。

- カッティングブレードは 2 種類の基本デザインがあります。研磨ブレードと、ダイアモンドブレードです。

- 高品質ブレードは、ほとんどの場合、最も経済的なものとなります。低品質のブレードを使用すると切断能力が劣化し、パワーカッターの耐用年数が短くなります。その結果、切断できる材料の量を考慮するとコスト高になります。
- 本機に取り付けられるカッティングブレードには、正しいブラシを使用してください。「カッティングブレードの組立」の説明を参照してください。

適切なカッティングブレード

カッティングブレード	K 760	K 760 **レスキュー**
研磨ブレード	はい*	はい*
ダイアモンドブレード	はい	はい
歯付きブレード	いいえ	はい**

*水なし

**「歯付きブレード、カーバイドチップブレードおよび緊急事態」の説明をご覧ください。

様々な素材へ対応するカッティングブレード

警告！カッティングブレードを意図されていない材料には絶対に使用しないでください。

ダイヤモンドブレードでプラスチック材を切断すると、切断に伴って熱が発生し材料が溶け、ブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。ダイアモンドブレードでプラスチック材料を切断しないでください。

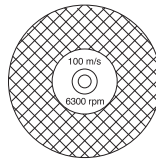
様々な用途に対するブレードの適性に関しては、カッティングブレードの説明書に従うか、代理店にご相談ください。

	コンクリート	**金属**	**プラスチック**	**鋳鉄**
研磨ブレード	X	X	X	X
ダイアモンドブレード	X	X*		X*

* 注意！特殊ブレードのみ

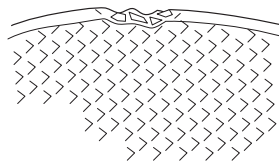
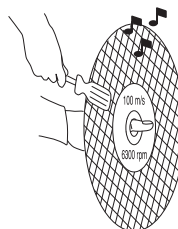
手持ち式の高速マシン

警告！パワーカッターよりも遅い定格速度のカッティングブレードを絶対に使用しないでください。携帯用高速パワーカッター用のカッティングブレードのみを使用してください。

- 弊社のカッティングブレードは携帯用高速パワーカッター用に製造されています。
- ブレードがエンジンの定格銘板に記載の速度あるいはそれ以上に準拠しているか確認してください。パワーカッターよりも遅い定格速度のカッティングブレードを使用しないでください。

ブレードの振動

- フィード時にかかる圧力が高すぎると、ブレードには、ひずみが生じて、振動することがあります。
- フィード時の圧力を下げることにより、振動を停止させることができます。あるいは、ブレードを交換します。

研磨ブレード

- 研磨ブレード上の切断素材は有機結合材で接着した粒子から構成されています。「補強ブレード」は繊維または繊維ベースの材料を使用しており、最高作動速度の際にブレードがヒビや損傷を受けても、完全に破損することを防止します。
- カッティングブレードの性能は研磨粒子のタイプやサイズ、ならびに結合剤の種類および硬度により決まります。
- ブレードにいかなるヒビや破損もないことを確認してください。

- 研磨ブレードを指で吊り下げ、ねじ回しのようなツールで軽く叩いてください。ブレードから共鳴音が聞こえないときは、破損しています。

様々な素材へ対応する研磨ブレード

ブレードの種類	材料
コンクリートブレード	コンクリート、アスファルト、石材、鋳鉄、アルミニウム、銅、真ちゅう、ケーブル、ゴム、プラスチックなど。
メタルブレード	鉄、鉄合金、その他の硬質金属。

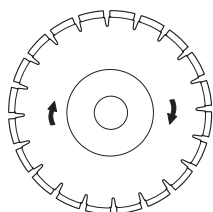
警告！水と共に研磨ブレードを使用しないでください。研磨ブレードは、水や湿気にさらされると強度が低下し、ブレード破壊の危険が増します。

ダイアモンドブレード

一般注意事項

警告！ダイヤモンドブレードでプラスチック材を切断すると、切断に伴って熱が発生し材料が溶け、ブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。

警告！ダイアモンドブレードは、使用中、非常に熱くなります。誤った使用はブレードの過熱を引き起こし、ブレードの変形によって、損傷や傷害を招くことがあります。

- ダイヤモンドブレードは産業用ダイヤモンドを含む刃先が鋼鉄製ブレード本体に付いた構成になっています。
- ダイヤモンドブレードは交換頻度が低く、一定の切断深度を保つことができ、切断操作に係るコストを低減することができます。
- ダイヤモンドブレードを使用するときは、ブレードに表記された矢印の方向に回転することを確認してください。

様々な素材へ対応するダイアモンドブレード

- ダイアモンドブレードは、石、強化コンクリート、その他の合成物質に最適です。
- ダイアモンドブレードには、硬度に関して、いくつかのクラスがあります。
- 特殊ブレードは、金属を切断する場合使用してください。製品の正しい選択については、販売店にご相談ください。

ダイアモンドブレードの研ぎ方

- 常に鋭利なダイヤモンドブレードをお使いください。
- ダイアモンドブレードは、動作時にかける圧力が間違っているときや、高度に強化されたコンクリートを切断するときには、鋭さを失います。鈍くなったダイアモンドブレードで作業をすると、ブレードの過熱を発生させ、ダイアモンドセグメントの緩みを招くことがあります。
- 砂 岩やれんがのような柔らかい物質を切断してブレードの目立てを行ってください。

乾式切断用のダイアモンドブレード

- 乾式切断用のダイアモンドブレードは、水冷却のあるなしにかかわらず使用できます。
- 乾式切断を行うときは、ブレードを 30 から 60 秒ごとに切断部から持ち上げ、空気中で 10 秒間ほど回転させ、冷却させるようにします。これが行われない場合、ブレードが過熱することがあります。

湿式切断用のダイアモンドブレード

- 湿式切断用のダイアモンドブレードは、水冷却を行いながら使用しなければなりません。これが行われない場合、ブレードが過熱することがあります。
- 水冷却はブレードの寿命を長くし、同時にほこりの堆積を減少させます。

歯付きブレード、カーバイドチップブレードおよび緊急事態

カーバイドチップブレードは、訓練を受けたスタッフが救助活動でのみ使用するものです。

搬送と保管

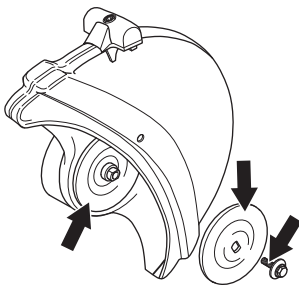
- カッティングブレードを付けたままパワーカッターを保管したり、運搬しないでください。使用後はすべてのブレードを取り外し、注意してブレードを保管してください。
- カッティングブレードは乾燥した霜の発生しない場所に保管してください。研磨ブレードは注意して取り扱ってください。研磨ブレードは必ず水平にして保管してください。研磨ブレードを湿気のある場所で保管すると、バランスが悪くなり、負傷の原因になります。
- 新品のブレードは、運搬や保管による損傷がないか点検してください。

一般注意事項

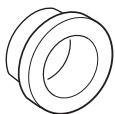
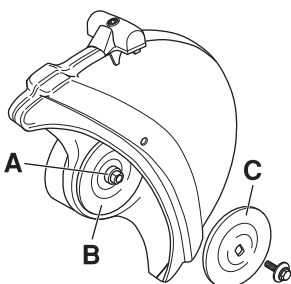
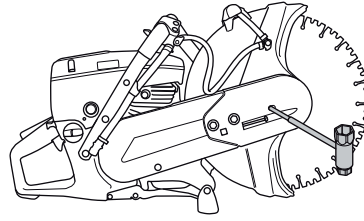
警告！ストップスイッチを STOP 位置にして、エンジンを切って下さい。

ドライブシャフトとフランジウォッツシャーの点検

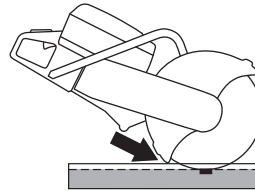
ブレードが新品に交換した場合、フランジウォッシャーとドライブシャフトを点検します。

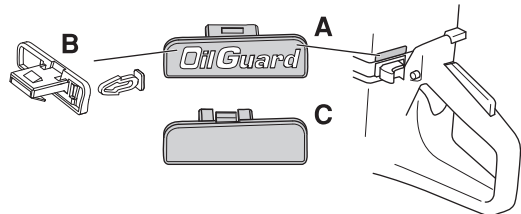
- ドライブシャフト上のねじ山に損傷がないか確認します。
- ブレードとフランジウォッシャーの接触面に損傷がないこと、正しいサイズであること、汚れがなく、ドライブ車軸上で適切に動作することを確認します。

- 曲がっていたり、角がかけていたり、不均衡であったり、または汚れているフランジウォッシャーは使用しないでください。違ったサイズのフランジウォッシャーは使用しないでください。

カッティングブレードの取付

- ハスクバーナのブレードは、手持ち式パワーカッターでの使用が認められています。
- ブレードのセンター穴に対してマシンを調整するために、マシン車軸にブッシングを取り付けることができます。正しい直径のブッシングを使用してください。ブレードにはセンター穴の直径が記してあります。

- ダイアモンドブレードをパワーカッターに取り付ける際、ブレード上の矢印方向にダイアモンドブレードが回転することを確認してください。
- ブレードは、内部フランジワッシャー (B) とフランジワッシャー (C) の間のブッシング (A) 上に設置されます。フランジワッシャーを回し、軸へ取り付けます。

- シャフトをロックします。

- ブレードを止めているボルトの締め付けトルクは以下の通りです。15-25 Nm (130-215 in.lb)。

ブレード用ガード

- 背面部が作業対象物の方を向くように、カッティング装置のガードを調整してください。ガードは切削くずや火花が飛び散るのを妨ぎ、使用者を保護します。ブレードガードを、パワーカッターに必ず取り付けてください。

OilGuard の解除 (K760 OilGuard)

- マシンの納入時、OilGuard プラグ (A) とブルーインジケータピン (B) がタンクに付いています。

- ハスクバーナの OilGuard オイルではなく、同等の品質のオイルを使用する場合、分離機能を使用して OilGuard システムを無効にすることができます。
- 機能を無効にするには、ドライバーで OilGuard プラグを外し、インジケータピンを折ります。次に、分離プラグ (C) をタンクに取り付けて解除作業を終了し、穴をカバーします。
- OilGuard システムを再び有効にするには、OilGuard プラグを再び押します。システムは有効になりますが、インジケータピンは壊れているために使用できません。
- 壊れているインジケータピンは、OilGuard システムは分離されていることを意味します。
- スペア用として新しいインジケータピンを購入できますが、このピンは単色のグレーになり、マシンの工場出荷後、OilGuard システムが無効にされたことが分かるようになっています。

一般注意事項

警告！密室や換気の悪い場所でエンジンをかけると窒息死や一酸化炭素中毒の原因となることがあります。1 メートル以上の深い溝や堀などで作業する場合、ファンを使用して適切な換気を確保してください。

燃料や燃料ガスは、非常に可燃性が高く、人間がそれを吸いこんだり、皮膚に付けたりすると深刻な傷害を引き起こすことがあります。このため、燃料を取り扱い際は細心の注意を払い、十分な換気を確保するようにしてください。

エンジンの排気ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となることがあります。屋内や可燃物付近では、決して本機を始動しないでください！

燃料付近では、喫煙したり、熱いものを置いたりしないでください。

燃料

注意！本機は 2 サイクルエンジンを搭載しているため、運転にはガソリンと 2 サイクル・エンジンオイルとの混合燃料が必要です。正しい混合率を確保するためには、オイルの量を正確に計量することが重要です。少量の燃料を混合する場合は、わずかな誤差でも配合に多大な影響を及ぼすことがあります。

ガソリン

- 無鉛または有鉛の良質なガソリンをご使用ください。
- 推奨される最低オクタン価は 90 (RON) です。90 以下のオクタン価でエンジンを作動させると、ノッキングの原因となることがあります。ノッキングが起きるとエンジンの温度が上がって、エンジンの深刻な損傷につながることがあります。
- 高回転を継続させて作業する場合、オクタン価の高いガソリンをお奨めします。

環境燃料

ハスクバーナ社は、Aspen（アスペン）2 サイクル燃料や 4 サイクルエンジン用のエコガソリンに 2 サイクルオイルを下表のとおり混合したものなど、アルキレート燃料の使用を推奨します。燃料のタイプを変更した場合、キャブレターの調整が必要です。ご注意ください。（「キャブレター」参照。）

2 サイクルオイル

K760

- 最良の効果を得るに、HUSQVARNA 2 サイクルオイルをご使用ください。このオイルは本機の 2 サイクルエンジン用として特別に作られています。
- アウトボードオイル (TCW) とも呼ばれる水冷式船外機用の 2 サイクルオイルは絶対に使用しないでください。
- 4 サイクルエンジンオイルも絶対に使用しないでください。

K760 OilGuard

- HUSQVARNA OilGuard 2 サイクルオイルを使用してください。

混合

- ガソリンとオイルを混合するときは、常に清潔な燃料用容器をご使用ください。
- 必ず使用予定の半量のガソリンを、最初に容器に入れます。次に、オイルの全量を入れます。混合燃料をよく混ぜ（振り）ます。最後に残りのガソリンを加えます。
- パワーカッターの燃料タンクに給油する前に、混合燃料を良く混ぜ（振り）ます。
- 1 ヵ月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。

混合比 (K760)

- 1:50 (2%)、HUSQVARNA 2 サイクルオイル
- JASO FB/ISO EGBまたはそれ以上の分類の空冷、2 サイクルエンジン用として意図されたその他のオイル 1:33 (3%)

ガソリン、リットル	2 サイクルオイル、リットル	
	2% (1:50)	3% (1:33)
5	0.10	0.15
10	0.20	0.30
15	0.30	0.45
20	0.40	0.60

混合比（K760 オイルガード）

- HUSQVARN A OilGuard オイルまたは同等のオイル 1:50 (2 %)

ガソリン、リットル	2 サイクルオイル、リットル
	2% (1:50)
5	0.10
10	0.20
15	0.30
20	0.40

給油

警告！給油をする前には、必ずエンジンを止めて数分間温度が下がるのを待ってください。ストップスイッチを STOP 位置にして、エンジンを切って下さい。

給油の際には、超過圧力が徐々に放出されるよう、燃料キャップをゆっくり開けてください。

燃料キャップの周囲をきれいにします。

給油後は燃料キャップをしっかり閉めてください。それらを怠ると火災を引き起こす原因となります。

給油後は、給油した場所から少なくとも 3 m 離れたところで始動してください。

下記の条件では、決して本機を始動しないでください：

- マシンに燃料やエンジンオイルをこぼしたとき。きれいに拭き取り、表面に残った燃料が蒸発するのを待ちます。
- 自分や衣服に燃料がかかったときは、衣服を交換します。皮膚についた燃料を洗い流してください。石鹸と水を使用します。
- 燃料が漏れている場合。燃料キャップや、燃料ラインから漏れがないか、定期的に検査します。

搬送と保管

- パワーカッターと燃料は、電気機器、電気モーター、リレー/スイッチ、ボイラーなど、火花や裸火を発するものから離して保管・運搬し、液体漏れやガスによる火災発生の危険性をなくしてください。
- 燃料の保管や輸送を行う場合は、常に認可された専用容器を使用してください。

長期間の保管

- マシンを長期間にわたり保管するときは、燃料タンクを空にしてください。余分な燃料の処分方法については、地域のガソリンスタンドにお尋ねください。

OilGuard (K760 OilGuard)

- OilGuard を装備するマシンは、誤った燃料混合を認識できる内蔵システムを持っています。
- マシンが起動すると、約 10 秒で検出装置が燃料の品質を読み取ります。正しい分量のハスクバーナ OilGuard オイルが使用されている場合、マシンは通常の速度で動作します。違う種類のオイルが使用されている場合、マシンをこれを検出し、エンジンの回転数を 3,800rpm へ制限し、エンジンの損傷を回避します。
- 通常の速度でマシンを動作させるには、誤った混合燃料を排出して、ハスクバーナ OilGuard オイルの正しい混合比率 (2%) の燃料を充填します。

保護的な装備

一般注意事項

- 事故のときに、助けを求めることができない状況で、パワーカッターを使用してはいけません。

使用者の身体保護具

本機を使用する際は、承認を受けた身体保護具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具の選択については、販売店にご相談ください。

警告！材料の切断、粉砕、穴あけ、サンディング、形成を行う機械を使用すると、人体にとって危険な化学物質を含んだ粉塵や蒸気が生成されることがあります。加工する材料の性質をチェックして、適切な呼吸マスクを使用してください。

長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。本機を使用する際は、認可されているイヤマフを必ず着用してください。イヤマフを着用している間、警告信号や叫び声に気を付けてください。エンジンが停止したら直ぐにイヤマフを外すようにしてください。

常に下記のものを着用してください。

- 承認されたヘルメット
- イヤマフ
- 保護メガネまたはバイザー
- 呼吸マスク
- 高耐久性で、握りが確かな保護手袋
- 体の動きを制限することのない、体にフィットした、丈夫で快適な服装。
- つま先部スチール製、ノンスリップ靴底のパワーカッター用防護靴。

使用者の身体保護具

注意！マシンでの作業中、火花や火が発生することがあります。常に、消化装置をお手元に装備してください。

- 消火器とシャベル。
- 常に救急箱を身近に備えてください。

一般的な安全注意事項

このセクションでは、本機の使用に際しての基本的な安全注意事項について説明します。記載された情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。本機をご使用になる前にこの取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

- 周囲の人や彼らの財産を様々な事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者としてのあなたにあることをしっかりと心にとめてください。
- マシンは清潔にしておく必要があります。目印やステッカーは、法規に完全準拠しなければなりません。

いつも常識のある取り扱いを

起こり得る状況をすべて予測し、対応することは不可能です。常に注意を払い、常識に適った使用方法で操作してください。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。本機をお買い上げになった販売店、サービス代理店や熟練ユーザーなどに相談してください。よく理解できていない状態で、作業を行わないでください！

警告！不注意な取扱いや誤った取扱いは、作業者や周囲の人などに、深刻な、時には致命的な傷害を引き起こすことがあります。

子供やマシンの扱いに不慣れな人間にマシンを使用させないようにしてください。

本取扱説明書の内容を理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。

疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用したときは絶対に本機を使用してはいけません。

警告！承認のない変更および/または付属品の使用は、使用者や周囲の人に対して深刻な傷害をもたらすことがあります。いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなくマシンの設計に変更を加えないでください。

本製品を改造したり、改造の疑いがある製品を使用しないでください。

欠陥のあるマシンは絶対に使用しないでください。本取扱説明書の内容に従って、点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、訓練を受け、資格のある専門家でなければできないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

常に純正の部品をお使いください。

警告！本機は、運転中に電磁場を生成します。この電磁場は、場合によって能動あるいは受動的な医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻なまたは致命傷の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している人が本機を操作する前に、主治医およびペースメーカーの製造元に相談することをお奨めします。

職場の安全

警告！パワーカッターの安全距離は 15 メートルです。使用者は、動物や傍観者が、作業場所にいないことを確認する責任を負っています。切断は、作業場所に問題がなく、足場がしっかりしている場合にのみ、始めることができます。

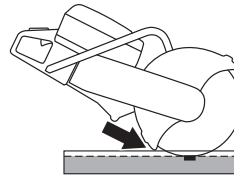
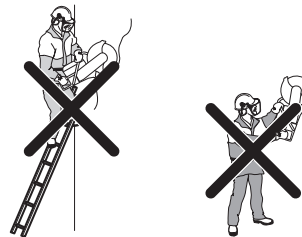
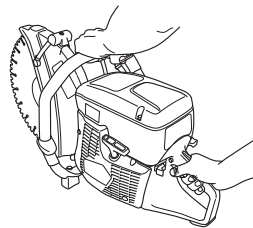
- 周囲の状況をチェックして、マシン使用に影響があるものを除去してください。
- 人間や物体が切断装置に接触しないこと、さらに、ブレードが破損した場合、その破片が人間や物体にぶつからないことを確認してください。
- 濃霧、豪雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、地面が凍結するなど危険です。
- 作業場所が清潔ではないとき、安定した足場がないときには、パワーカッターを始動させてはいけません。予期しない障害物が移動してぶつからないように、注意を払ってください。切断時は、何らかの物が崩れたり、落下したりして、操作上の傷害を発生させることがないように気をつけます。傾斜した場所で作業を行うときは特に注意します。
- 作業場の視界が十分に明るくなっており、安全な作業環境であることを確認してください。
- 配管や電気ケーブルが、作業現場や切断する材料を通っていないことを確認してください。

基本的な作業方法

警告！パワーカッターを片側に引っ張らないでください。ブレードが詰まったり破損して人身事故を起こす原因となります。

いかなる場合でもブレードの側面で切断をするのは避けてください。損傷や破損を起こし、重大な損害の原因になります。刃先の部分のみを使用してください。

ダイヤモンドブレードでプラスチック材を切断すると、切断に伴って熱が発生し材料が溶け、ブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。ダイアモンドブレードでプラスチック材料を切断しないでください。

- マシンは、手持ち式高速パワーカッターとして、研磨ブレードあるいはダイアモンドブレードによる切削が実施できるように開発されています。本機は、他のブレードの装着、あるいは他の切削での使用について認められていません。
- エンジンの動作中においては、ブレードから距離を保ちます。
- 切断装置が回転している状態で、パワーカッターを移動しないでください。マシンには、停止時間を短縮するための摩擦抑制装置が備わっています。
- 背面部が作業対象物の方を向くように、カッティング装置のガードを調整してください。ガードは切削くずや火花が飛び散るのを妨ぎ、使用者を保護します。切断装置のガードが、マシンの運転時にはいつでも取り付けられている必要があります。

- ブレードのキックバックゾーンを切削のために使用しないでください。詳細は、「キックバック」を参照してください。
- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。
- 肩より高い位置で切断を行わないでください。ハシゴに乗って切断しないでください。高所で作業する場合は、台や足場を利用してください。

- マシンは、常に、両手で強く支えてください。五本の指を使ってハンドルをしっかりと握ります。

- 切断対象物からほどよい距離に立ちます。
- パワーカッターを始動するとき、ブレードに何も触れていないことを確認します。
- 切削ブレードに対して、高速回転（フルスロットル）を徐々に適用し、切断が終了するまでフル回転を維持します。
- マシンを動作させるときは、ブレードに力を込めたり、押したりしてはいけません。
- パワーカッターはブレードの線上になるように真っ直ぐに下ろします。横からの圧力はブレードが損傷を受け、非常に危険です。

- ブレードをゆっくり前方、後方へ交互に移動しブレードと切断対象材料の間の接触部分を小さくします。これによりブレードの温度を下げ、切断効果が高まります。

救助活動では、歯付きブレードあるいはカーバイドチップブレードで切削します。

警告！カーバイドチップブレードを装着したパワーカッターは、建設作業などの非緊急業務では使用しないでください。

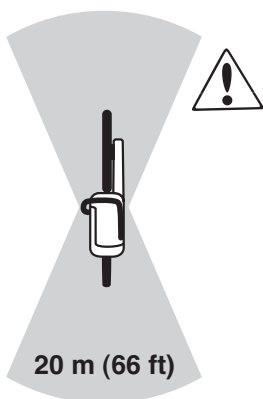
カーバイドチップブレードは、正しく使用しない場合、研磨ブレードやダイアモンドブレードよりもキックバックを起こしやすいことを、常に心に留めてください。

本パワーカッターを購入した公的救助隊（消防隊）が、カーバイドチップブレードをマシンに装着して使用する場合、以下の安全事項を遵守する必要があります。

訓練と防護具

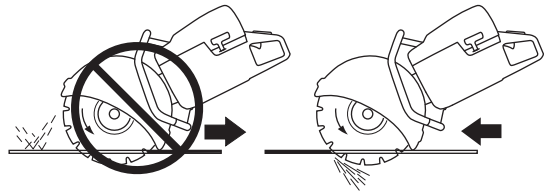
- カーバイドチップブレードを装着したパワーカッターによる切削作業を訓練したことのある作業者だけに、パワーカッターの使用を認めるようにしてください。
- 作業者は、常に完全耐火服を着用してください。
- 作業者は、フルフェースの防護マスク（防護メガネではなく）を着用して、飛び散ってくる破片や突然キックバックするパワーカッターから顔を護ってください。

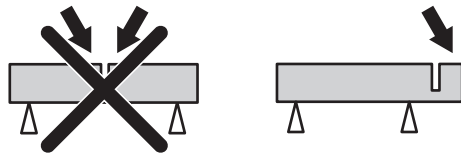
危険エリア

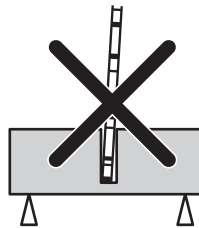
上記の防護具を身に着けていない人間は、破片などが飛び散ってくる可能性のある危険エリア内に入れないようにしてください。

ブレード速度

切削ブレードに対して、高速回転（フルスロットル）を徐々に適用し、切断が終了するまでフル回転を維持します。特に硬くて薄い物質の場合、ブレードを低速にするとカーバイドチップが詰まったり砕け散る可能性があります。

薄い材料

薄くて硬い材料（板金で覆われた屋根など）を切削する場合、最良のコントロールを得るために前方へ切削するようにしてください。

挟まりや引っ掛かり

切削の最終段階で加工物がどのように動くかを注意深く計算して、挟まりや引っ掛かりなどの障害を回避してください。切断中、切断部分が閉じないようにする必要があります。加工物に歪みが発生すると、切断部の空きスペースが無くなってブレードが挟まり、キックバックを起こしたり、ブレードを破損したりする可能性があります。

まっすぐに切削すること

切断ラインに対して斜めになったり、捻じれたりすると、切削効率の低下やブレードの損傷を招きます。

救助活動の前に

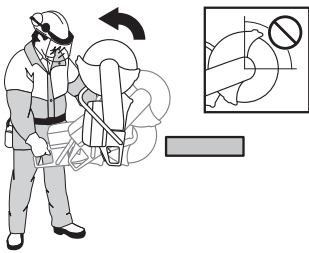
ブレードとブレードガードに損傷やひびのないことを確認します。強い力が加わったり、ひびが入ったときは、ブレードまたはブレードガードを交換します。

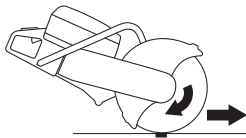
- カーバイドチップがカッティングブレードからゆるんでいないかどうか検査します。
- ブレードにゆがみがなく、ひびや他の損傷がないかどうか検査します。

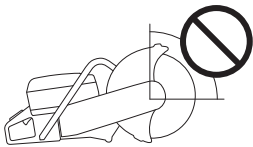
硬い素材を切断すると、カーバイドチップブレードの切れ味は急激に悪くなります。救助活動のパフォーマンスを最大限に発揮できるよう、新しいブレードを装着しておくことを推奨します。

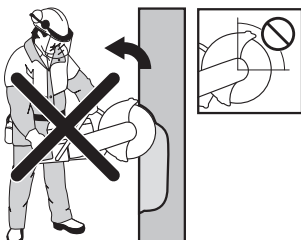
キックバック

警告！キックバックは突然強い力で起こることがあります。パワー・カッターが作業者に向かって回転しながら飛ばされて、人命にかかわる傷害を招くことさえあります。キックバックの原因と、その防ぎ方を理解することは、非常に大切です。

キックバックとは、ブレードがキックバックゾーンで挟まったり、引っかかったりすると、パワーカッターが突然、上へ持ち上げられるような現象です。ほとんどのキックバックは小規模で、それほど危険を伴わないものです。しかしながら、キックバックは非常に危険な挙動を発生させることがあり、作業者に向かってパワー・カッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわる傷害を招くことさえあります。

反作用力

切削時、反作用力は常に存在します。この力は、ブレード回転に対して逆の方向へマシンを引っ張るように働きます。通常、この力は問題にはなりません。ブレードが挟まったり、引っかかったりすると、反作用力は強力になり、パワーカッターをコントロールできなくなることがあります。

キックバックゾーン

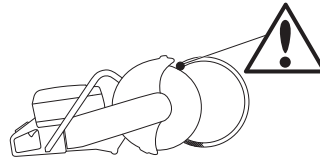
ブレードのキックバックゾーンを切削のために使用しないでください。ブレードがキックバックゾーンで挟まったり、引っかかったりすると、反作用力により、作業者に向かってパワー・カッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわる傷害を招くことさえあります。

クライミングキックバック

キックバックゾーンで切削が行われると、反作用力によりブレードが切削箇所から持ち上げられます。キックバックゾーンを使用しないでください。クライミングキックバックを回避するために、ブレードの下部、四分の一を使用してください。

ピンチングキックバック

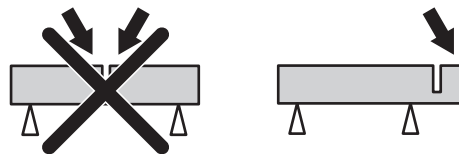
ピンチングとは、切削部が閉じて、ブレードを挟んでしまうことです。ブレードが挟まったり、引っかかったりすると、反作用力は強力になり、パワーカッターをコントロールできなくなることがあります。

ブレードがキックバックゾーンで挟まったり、引っかかったりすると、反作用力により、作業者に向かってパワー・カッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわる傷害を招くことさえあります。

パイプカッティングとピンチング

パイプを研磨切断する場合、特に注意すべきことがあります。パイプがしっかりと保持されておらず、切削時、切削部がオープン状態を維持している場合、ブレードがキックバックゾーンで挟まり、危険なキックバックが発生することがあります。

キックバックの避け方

キックバックの回避は簡単です。

- 加工物は常に保持して、切削の最後まで切削部が閉じないようにしてください。切削部分が開いていれば、キックバックは発生しません。切削部が閉じて、ブレードが挟まると、常にキックバックの危険があります。

- 既存の切れ目にブレードを挿入するときは注意してください。
- 切断対象物の動きや、その他起こり得るどんなことに対しても油断をしないでください。切断面が閉じたりブレードが挟まれたりすることがあります。

搬送と保管

- 搬送の間、損傷や事故が起こらないように、機器をしっかりと固定してください。
- カッティングブレードの輸送と保管については、「カッティングブレード」をご参照ください。
- 燃料の輸送と保管については、「燃料の取り扱い」をご参照ください。
- 装置を鍵のかかる場所に保管し、子供や、承認を受けていない人が触れることのないようにします。

始動前に

警告！本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

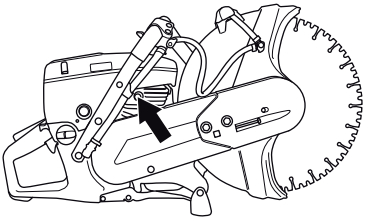
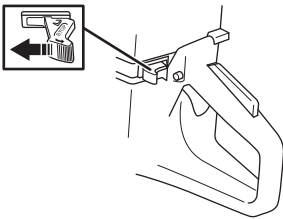
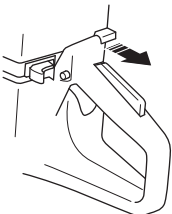
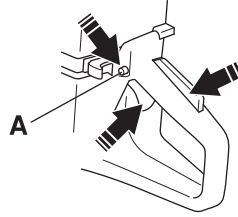
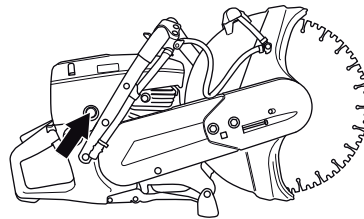
身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。

深刻な傷害を引き起こす危険があるので、関係者以外の人間が作業エリアに入れないようにしてください。

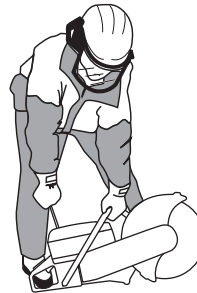
燃料キャップが正しく固定されており、燃料漏れがないことを確認してください。火災の危険性。

- 毎日のメンテナンスを実施してください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

始動

- **デコンプバルブ：** シリンダー内の圧力を下げるため、バルブを押してください。これは、パワーカッターの始動を助けるためのものです。デコンプバルブは、始動時には常に使用してください。マシンの始動時、バルブは自動的に初期位置に戻ります。

- **ストップスイッチ：**ストップスイッチ (STOP) が、左の位置にあることを確認してください。

- **チョーク — 常温エンジン：**チョークコントロールを完全に引き出します。

- **スタートスロットル位置：**スロットルトリガーロック、スロットルコントロール、スタートスロットルロック (A) の順に押します。スロットルコントロールを開放すると、半スロットル位置にロックされます。スロットルコントロールが完全に押されると、ロックが解放されます。

- **エアパージ：**燃料がダイアフラムを満たすまでエアパージダイアフラムを繰り返し押します（最低 6 回）。ダイアフラムが完全にいっぱいになるまで注入する必要はありません。

エンジンの開始

警告！カッティングブレードは、エンジンが始動すると回転します。正常に回転していることを確認してください。

- 左手でフロントハンドルを握ります。後ろハンドルの下側に右足を乗せ、パワーカッターを地面に押し付けます。**スターターロープは絶対に手に巻き付けないでください。**

- 右手でスターターハンドルを握り、抵抗を感じる（歯止めにかかる）までゆっくりとスターターロープを引き出します。次に素早く、強くロープを引っ張ります。

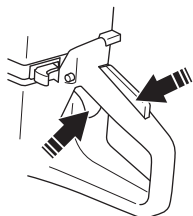
注意！スターターロープをいっぱいに引き出し、引っ張った状態からスターターハンドルを急に放さないでください。マシンが損傷を受ける可能性があります。

始動と停止

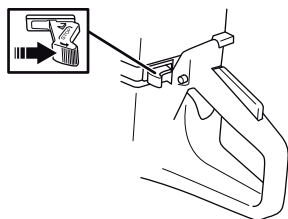
- **常温エンジンの場合：**エンジンが点火しても、チョークコントロールが引かれるとマシンが停止します。

  チョークコントロールとデコンプバルブを押してください。

  エンジンが始動するまで、開始ハンドルを押します。

- エンジンが始動したら、素早くフルスロットルにすることにより、自動的に高速アイドリングが開放されます。

停止

注意！カッティングブレードは、モーターが停止した後も一分間程度回転を続けます。（ブレードコースティング）カッティングブレードは完全に停止するまで、そのまま回転させてください。不注意により、重大な傷害を引き起こすことがあります。

- ストップスイッチ (STOP) を右に移動させることで、エンジンが停止します。

メンテナンス

一般注意事項

警告！使用者は本取扱説明書に記載されている点検とサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くのサービス代理店（販売店）に依頼してください。

ストップスイッチを STOP 位置にして、エンジンを切って下さい。

身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。

本機のメンテナンスを適切に行わなかったり、整備・修理を専門技術者に依頼しなかったりすると機械の寿命を縮め、事故発生の危険性が増します。詳しくは、お近くのサービスショップにお問い合わせください。

- ハスクバーナの販売店には定期的にマシンの検査をさせ、不可欠な調整や修理を行わせてください。

メンテナンスのスケジュール

メンテナンススケジュールにより、メンテナンスが必要なマシンの箇所と、それを実施すべき頻度が分かります。
実施間隔は、マシンが毎日使用されることを前提に算出されていて、使用頻度によって異なります。

毎日のメンテナンス	毎週のメンテナンス	毎月のメンテナンス
清掃	**清掃**	**清掃**
外部清掃		スパークプラグ
吸気口の冷却		燃料タンク
機能検査	**機能検査**	**機能検査**
一般点検	振動軽減システム	燃料システム
スロットルロック*	マフラー*	エアフィルタ
ストップスイッチ*	駆動ベルト	ドライブギア、クラッチ
ブレード用ガード*	キャブレター	
カッティングブレード**	スターター	

*「マシンの安全装置」を参照してください。

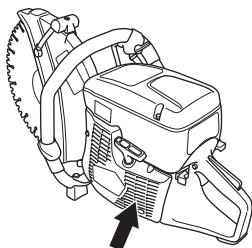
**「カッティングブレード」および「組立と設定」の説明を参照してください。

清掃

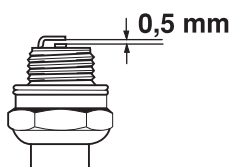
外部清掃

- 作業の終了時にはいつも、本機をきれいな水で洗浄してください。

吸気口の冷却

- 必要に応じて冷却用吸気口を清掃してください。

注意！スターターロープをいっぱいに引き出し、引っ張った状態からスターターハンドルを急に放さないでください。マシンが損傷を受ける可能性があります。

スパークプラグ

- マシンのパワーが低い場合、始動ができない場合、あるいはアイドリング速度で動作が遅い場合：まず始めにスパークプラグを常に点検してください。
- 感電の危険を回避するために、スパークプラグキャップやイグニションリードが損傷していないことを確認してください。
- スパークプラグが汚れていたら、きれいにしてから電極ギャップが 0.5 mm かどうか確認します。必要なら交換します。

注意！スパークプラグは必ず推奨タイプのものを使用してください！不適正なスパークプラグは、ピストンやシリンダーの損傷の原因となります。

これらの原因により、スパークプラグの電極に付着物が生じ、結果として故障や始動不良を起こす可能性があります。

- 誤った混合燃料 (オイル過多または間違ったオイルの使用)
- 汚れたエアフィルタ

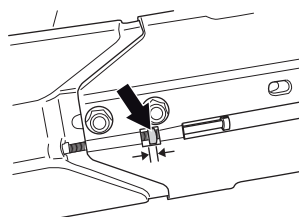
機能検査

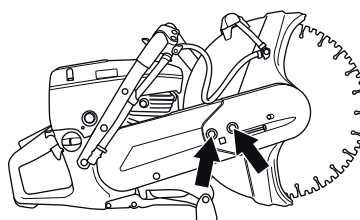
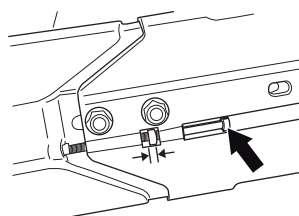
一般点検

- ナットおよびねじが確実に締められているかどうかを確認します。

駆動ベルト

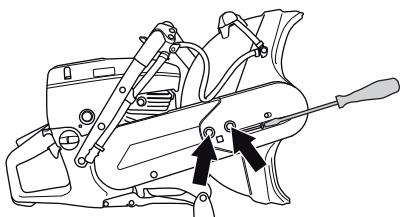
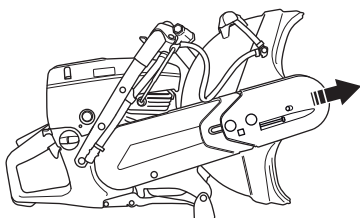
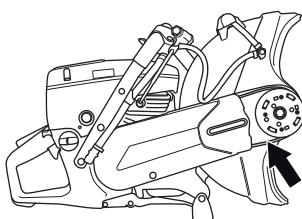
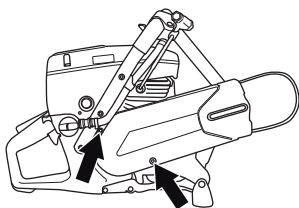
駆動ベルトの張りを検査します。

- 駆動ベルトに適切なテンションをかけるには、四角ナットが、ベルトカバーのマーキングの反対側に位置するようにしてください。

駆動ベルトの張り具合

- 新しい駆動ベルドは、燃料を 1 または 2 タンク分使用した後で、張りの調整をしてください。
- マシンに摩擦抑制装置が備わっている場合、手でブレードの向きを変えると、引っかくような音が聞こえることがあります。これは極めて正常です。ご質問があれば、Husqvarna の正規取扱店にお問い合わせください。
- 駆動ベルトは密封され、ほこりや汚れから効果的に保護されています。
- 駆動ベルトにテンションをかける場合は、カッティングアームを固定しているボルトを緩めます。

- 四角ナットがカバー上のマーキングの反対側に来るように、調整ネジを回します。これによって、自動的にベルトを正しい張り具合に調整することができます。

- T レンチを使用して、カッティングヘッドを固定しているねじの両方を締めます。

駆動ベルトの交換

警告！ベルトプーリーとクラッチがメンテナンスのために外されているときは、決してエンジンを始動させないでください。カッティングアームまたはカッティングヘッドが取り付けられていない状態で、パワーカッターを始動させないでください。クラッチが外れて負傷の原因となることがあります。

- 最初に二箇所のボルトを緩め、続いて調整ねじを緩めて、ベルトのテンションを無くします。

- 次に、ボルトを緩めて、ベルトガードを外します。

- ベルトプーリーからベルトを外します。

- この時点で、カッティングヘッドは緩んでいて、マシンから取り外すことができます。ガードを固定している二つのねじを緩めることで、リアベルトガードを外します。

- 駆動ベルトを交換します。
- 解体をした順番と逆の順番で、組立を行います。

キャブレター

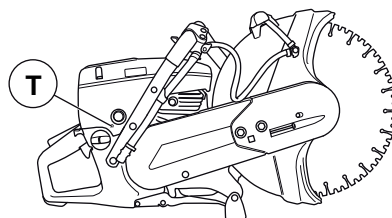
キャブレターには、固定ニードルが取り付けられており、マシンが燃料と空気の正しく混合された状態をいつも保てるようにします。エンジンのパワーが足りない時、加速が悪いときは、以下を行います：

- エアフィルタを点検し、必要であれば交換します。効果がないときは、弊社指定のサービス代理店に問い合わせてください。

アイドリング速度の調整

注意！アイドリング速度を調整しても、ブレードを停止させるような設定に調整できない場合は、販売店/サービス代理店に問い合わせてください。マシンのご使用は調整または修理が適切に行われるまでお控えください。

エンジンを始動しアイドリング設定をチェックします。キャ ブレターが正しく設定されていると、カッティングブレードはアイドリング時に静止状態になるはずです。

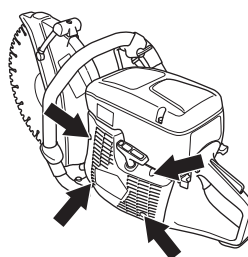
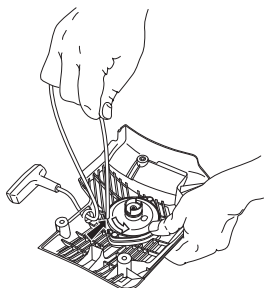
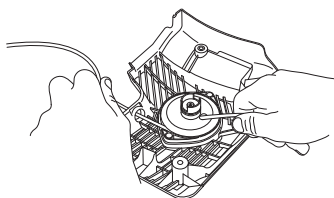
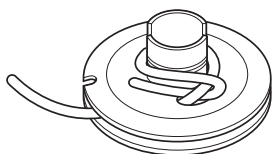
- アイドリング速度の調整はTネジで行います。調整が必要であれば、ブレードが回転を開始するまで、スクリューを時計回りに回します。次に、ブレードが回転を停止するまで、スクリューを反時計回りに回します。

推奨のアイドリング速度：2700 rpm

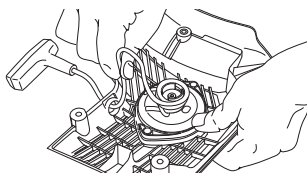
スターター

警告！リコイルスプリングがスターターハウジング内で引き締められているとき、それは張り切った状態にあり、不注意に取り扱うと飛び出して傷害をもたらすことがあります。

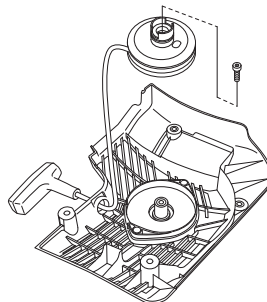
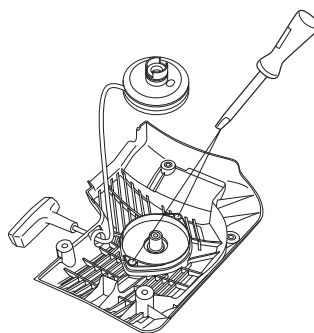
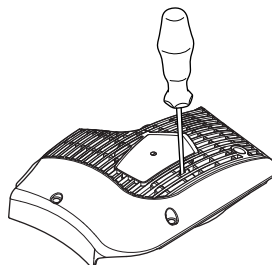
リコイルスプリングやスターターコードを交換するときは、いつも注意を払ってください。いつも保護ゴーグルを着用してください。

切れたり擦り減ったりしたスターターロープの交換

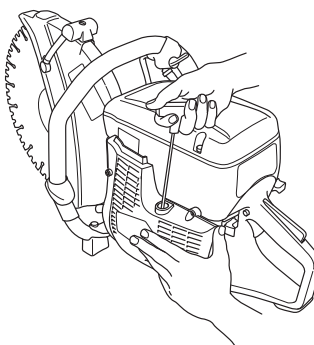
- スターターをクランクケースに固定しているねじをゆるめ、スターターを外します。

- コードを約 30 cm 引き、スタータープーリーの表面のカットアウトまで持ち上げます。コードに損傷がない場合：スプリングの張力を、プーリーをゆっくりと逆に回転させることにより、解放します。

- 古いスターターコードの残りの部分を取り除き、リターンスプリングが動作することを確認します。新しいスターターコードをスターターハウジングとコードプーリーの穴を通して挿入します。

- スターターコードを、図のとおりに、コードプーリーの周りに固定します。締め具をよく締めて、自由端が可能な限り短くなるようにします。スターターコードの終わり部分をスターターハンドルに固定します。

リコイルスプリングの伸張

- コードを、プーリーの表面のカットアウトを通して導き、スタータープーリーの中心の周りに、コードを 3 回時計回りに巻きつけます。

- 次にスターターハンドルを引き、それによってスプリングを引き締めます。もう一度、以上を繰り返しますが、今回は 4 回巻きます。
- スプリングを締めた後、スターターハンドルが正しくホームポジションにあることを確認します。
- スターターラインを完全に引き、スプリングが最終位置にないことを確認します。親指でスタータープーリーの速度をゆるめ、プーリーを少なくとも反回転で回すことができることを確認します。

破損したリコイルスプリングの交換

- プーリーの中心のボルトを外し、プーリーを取り外します。

- リターンスプリングが、スターターハウジング内で引き締められた状態であることに注意してください。
- スプリングカセットを固定しているボルトをゆるめます。

- ねじ回しを使用して、スターターを回し、フックをゆるめることで、リコイルスプリングを外します。フックは、スターター上のリターンスプリングの組立部を保持しています。

- リコイルスプリングを、軽油で潤滑します。プーリーを取り付け、リコイルスプリングを引き締めます。

スターターの取付

- スターターを取り付けるには、まずスターターコードを引き出し、スターターをクランクケースに対する位置に置きます。次に、ゆっくりとスターターコードを開放し、プーリーが歯止めにかかるようにします。

- ねじを締めます。

燃料システム

一般注意事項

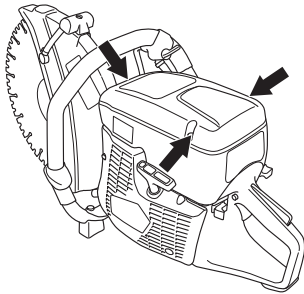
- 燃料キャップとシール部が損傷してないことをチェックします。
- 燃料ホースを点検します。損傷があるときは交換します。

燃料フィルタ

- 燃料フィルタは、燃料タンクの内部にあります。
- 燃料タンクは、給油時に不純物が入ることがないよう、保護される必要があります。これによって、タンク内の燃料フィルターが閉塞することによる動作上の障害リスクを減少させることができます。
- フィルターは、洗浄することができませんが、詰まったときには新しいフィルターと交換する必要があります。燃料フィルタは、少なくとも年に一度交換してください。

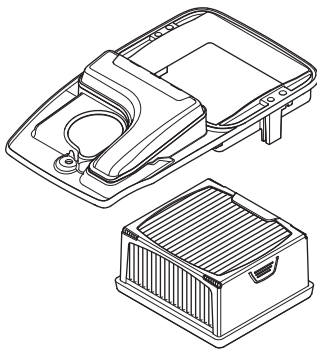
エアフィルタ

エンジンの力が落ちている場合、エアフィルターのみを点検する必要があります。

- ねじを締めます。エアフィルターカバーを取り外します。

- エアフィルタを点検し、必要であれば交換します。

エアフィルターを清掃します。

注意！エアフィルターは、圧縮空気で掃除しないでください。フィルターを傷つけることがあります。

- ねじを締めます。カバーを外します。

- エアフィルターを交換します。

ドライブギア、クラッチ

- クラッチセンター、ドライブギア、およびクラッチスプリングに摩耗がないか点検します。

主要諸元

エンジン	
排気量, cm^3	74
シリンダー内径, mm	51
ストローク, mm	36
アイドル回転数、min-1	2700
推奨最大速度、rpm	9300 (+/- 150)
出力、kW/ rpm	3.7/9000
イグニションシステム	
メーカー	SEM
型式	CD
スパークプラグ	Champion RCJ 6Y
電極ギャップ、mm	0.5
燃料および潤滑システム	
キャブレターのメーカー	Zama
キャブレターの型式	C3
燃料タンク容量, リットル	0.9
重量	
燃料とカッティングブレードを除くパワーカッター本体、kg	
12″ (300 mm)	9.4
14″ (350 mm)	9.8

ガイドバーとチェン

カッティングブレード	**最大周速**, m/s	**出力シャフト最高速度、**rpm
12″ (300 mm)	80	4650
14″ (350 mm)	100	4650

取扱説明書（オリジナル）

1153355-79

2010-01-19